

会場	一般演題・セッション名	開催時間	演題番号	筆頭演者	演題名
第5会場 (ガラス棟5F・G502)	心肺蘇生 座長：多村 知剛	9：00～9：49	D-01	萩原 鈴香	ICLSコースにおけるGoogle formsを活用したプレ・ポストテストの運用
			D-02	村山 直之	マラソン中に心停止を発症した3例
			D-03	亀田 貴範	特発性食道破裂により緊張性気胸を併発し心停止となった1例
			D-04	加藤 百音	胸骨圧迫中のバイスタンダーの急死例：法医学的視点からつく蘇生ガイドラインの盲点
			D-05	木本 慧	病院前での難治性心室細動に対する新たな戦略：Double Sequential External Defibrillation (DSED) の使用経験
			D-06	平山 一郎	当院救命センターが地域の心肺停止患者搬送と蘇生率に与える影響：後方視的観察研究
			D-07	菊地 一樹	硫化水素中毒による心停止患者に対しmouth to mouthで人工呼吸を行い硫化水素中毒をきたした1例
	呼吸不全・内分泌・アレルギー 座長：木庭 雄至	9：50～10：32	D-08	山下 雄斗	標準的治療に反応せず、集学的治療を要した気管支喘息重症発作の1例
			D-09	船山 彩夏	若年重症肺炎患者において経過中に肺分画症の診断に至った一例
			D-10	増田 太郎	高度肥満症の呼吸不全にカットダウン法でVV-ECMOを導入した1例
			D-11	貞広 智瑛梨	牛肉の摂取と遅発性アナフィラキシーから診断したα-Gal症候群の1例
			D-12	藤田 望	人工呼吸器離脱に難渋した粘液水腫性昏睡の一例
			D-13	山屋 百合奈	ショックで搬送された若年発症の粘液水腫性昏睡の一例
	中枢神経・けいれん 座長：中村 俊介	10：33～11：29	D-14	奥澤 聖文	ベランパネル過量服用により意識障害が遷延したが支持療法のみで良好な転帰を得たベランパネル中毒の一例
			D-15	橋田 真一	両側慢性硬膜下血腫に対して穿頭術と脳血管内治療の併用が有用であった特発性血小板減少性紫斑病の一例
			D-16	木村 冬馬	心因性非癲癇発作の診断に難渋した一例
			D-17	榎原 由希菜	最終健常から3日程度でMRI所見が得られた急性経過のMarchiafava-Bignami病の1例
			D-18	清水 瑠奈	難治性痙攣を生じた抗NMDA受容体脳炎に対して早期の腫瘍摘出術を含めた集学的治療が奏功した一例
			D-19	下西 颯	突然の背部痛を主訴に搬送されたくも膜下出血の1例
			D-20	栗田 将人	低ナトリウム血症による意識障害を契機として下腿コンパートメント症候群に至った一例
			D-21	細川 透	ベランパネル注射剤のてんかん重積状態に対する有効性についての検討
	外傷① 座長：大谷 典生	14：00～14：56	D-22	飯島 真吾	ドクターヘリにより救命し得た水上バイク事故による重症喉頭損傷の1例
			D-23	松本 雪菜	シートベルト外傷による後腹膜血腫と十二指腸狭窄に対し保存的加療が奏功した3歳児の一例
			D-24	近藤 主都良	Cross Limb Vascular Shuntが奏功した膝窩動脈損傷合併脛骨開放骨折の1例
			D-25	保住 岳	気道確保に難渋した気管損傷の一例
			D-26	熊谷 祐太郎	自動車事故により受傷した鈍的心損傷の一例
			D-27	武川 竜朗	試験開腹術で外傷性腹膜内膀胱破裂と診断した一例
			D-28	池谷 友里	軽微な受傷機転による咽頭後間隙血腫で気道緊急を来たし良好な転帰を得た1例
			D-29	藤原 東華	外傷性上縦隔血腫で判明し、左甲状頸動脈損傷に対し血管内塞栓術を行った1例
	外傷② 座長：山下 智幸	14：57～15：46	D-30	榎本 梨奈	犬咬傷の頸部挫創はわずか8mmの傷であったが頸部CTで縦隔気腫を認めた一例
			D-31	村上 諒典	受傷翌日の超早期に静脈血栓塞栓症を発症した胸部単独外傷の一例
D-32			広瀬 大輝	高エネルギー外傷後の経過観察入院においてICU滞在期間を延長させる要素についての検討	
D-33			堀江 康貴	Wilson病の既往をもつ外傷患者に発症した脾動静脈瘻の治療経験	
D-34			前村 直輝	東京都内の河川での水汚染を伴う外傷症例に対する抗生剤の検討	
D-35			小野 陸央	都市部で経験したマムシ咬傷の1例	
D-36			古川 琢斗	当院で経験したマムシ咬傷の2例	
中毒・薬物① 座長：神田 潤	15：47～16：43	D-37	武井 沙也加	低用量アスピリンとプロトンポンプ阻害薬併用中に多発小腸潰瘍により出血性ショックをきたした1例	
		D-38	近江 光	αグルコシダーゼ阻害剤内服による腸管気腫症をきたした3例	
		D-39	山西 有紀	メトクロプラミド投与が誘因と考えられるPheochromocytoma multisystem crisisの1例	
		D-40	岩本 泰樹	脂肪吸引後の創部痛からNSAIDsを多飲し極度の貧血となった1例	
		D-41	須郷 加奈子	Escitalopramの再開によりセロトニン症候群が惹起された1例	
		D-42	内田 碧輝	バリペリドン投与下の敗血症性ショックの蘇生時に起きたアドレナリン反転の一例	
		D-43	河野 勝紀	摂食障害による薬物野菜の偏食が原因と考えられたメトヘモグロビン血症の一例	
		D-44	中村 優太	火災による一酸化炭素中毒にメトヘモグロビン血症を合併した一例	
中毒・薬物② 座長：小山 泰明	16：44～17：33	D-45	吉澤 雪絵	シュウ酸カルシウム中毒の引き起こす粘膜障害を経験した一例	
		D-46	山名 里奈	デキストロメトルファン (DXM) 過量摂取によりセロトニン症候群を発症した2例	
		D-47	乾 裕貴	炭酸リチウムによる腎性尿崩症によって1日約18Lの多尿を呈したが、良好な転帰を得た1例	
		D-48	勝田 晃平	早期のホメピゾールの投与と血液透析により臓器障害を回避したエチレングリコール中毒の1症例	
		D-49	藤原 慈明	2社分の置き薬を過量内服した数時間後に胃洗浄を実施して良好な転帰を得たアセトアミノフェン中毒・カフェイン中毒の一例	
		D-50	木村 慎一	当院救命救急センターに搬送された急性薬物中毒の検討	
		D-51	児玉 光太	当院における高齢者医薬の特徴と社会的要因	

会場	一般演題・セッション名	開催時間	演題番号	筆頭演者	演題名
第6会場 (ガラス棟5F・G510)	心臓・血液・血管① 座長：澤田 悠輔	9：00～9：49	D-52	林 宥希	排便を契機に発症した腹部内臓動脈瘤破裂の一例
			D-53	松本 佳祐	複数の孤立性内臓動脈解離を生じ、腸管虚血に対してバイパス術を施行した1例
			D-54	中尾 友香	血小板減少を伴う過凝固状態にてHITを疑い機能的測定法まで実施した一例
			D-55	松矢 玲央	当院で経験した腹部内臓動脈瘤に対する緊急血管内治療法の検討
			D-56	清水 吹紀	大腿骨頸部骨折が誘因となった胸部症状を認めないこつぼ心筋症の一例
			D-57	吉野 梨那	複数のtemporary abdominal closure手技を組み合わせるprimary fascia closureを達成した腹部コンパートメント症候群の一例
			D-58	前田 安優実	保存的治療を行なった特発性腸間膜血腫の一例
	心臓・血液・血管② 座長：嶽間澤 昌泰	9：50～10：32	D-59	澤崎 英太	下腭十二指腸動脈瘤破裂に対してInterventional Radiology(IVR)を施行し、遅発性十二指腸狭窄を生じた一例
			D-60	牧田 真之	粘液水腫性昏睡に急性冠症候群を合併した一例
			D-61	島田 拓哉	両大腿の網状皮斑と両大腿動脈の触知不良により腹部大動脈瘤破裂を疑い診断した1例
			D-62	榎原 由希菜	歩行中の膝部痛を契機に診断された両側総腸骨動脈閉塞症の一例
			D-63	長竹 芳紘	アルコール依存症治療薬内服中の飲酒により血液分布異常性ショックに至った2例
			D-64	飯島 章子	脈管浸潤により内胸動脈出血をきたしたと考えられたGorham病の一例
	感染症 座長：岩崎 任	10：33～11：22	D-65	福井 雅浩	新型コロナウイルス蔓延に伴う救急搬送の特徴-横浜市立大学附属病院救急対応症例データより-
			D-66	津下 詩帆	敗血症性ショックに至るも救命しえたESBL産生大腸菌感染症の一例
			D-67	東郷 志穂	尿培養では同定できなかった気腫性腎盂腎炎によるClostridium perfringens菌血症
			D-68	前田 敦雄	COVID-19感染を契機にITPを合併した1例
			D-69	金井 健明	S状結腸癌による結腸膀胱瘻と左腸腰筋膿瘍から左下肢壊死性軟部組織感染症を来した1例
			D-70	池邊 怜寛	初期診療で十分な接触感染対策ができなかった角化型疥癬の1例
			D-71	平田 薫	多発外傷の治療経過中に末梢静脈路からカテーテル関連血流感染症を発症した一例
	体制整備・教育 座長：小松 孝行	14：00～14：49	D-72	野田 彰浩	医療機関に所属する救急救命士の新規導入に際して消防OB救命士を起点とした一例
			D-73	蘇我 孟群	JTASを用いた院内トリアージにおけるアンダートリアージの要因の検討
			D-74	五十嵐 秀富	当院救急科初期臨床研修医におけるインシデントの特徴
			D-75	本村 友一	大規模災害時の空路患者搬送調整に伴う陸路搬送の困難性と対策
			D-76	早野 大輔	当院ICUにおける垂直避難訓練の実施とその課題
			D-77	藤井 遼	現場滞在時間の短縮に向けた消防との連携の取り組み
			D-78	岡本 健	救急医療におけるカラーマネージメント技術の活用による迅速検査アプリケーションの試作開発と評価
	その他 座長：本間 洋輔	14：50～15：32	D-79	永野 太郎	全身管理により子宮摘出を回避した子宮型羊水塞栓症の一例
			D-80	田中 翔悟	尿毒症により顔面から頸部に限局するミオクローヌスを発症した一例
			D-81	伊波 博登	重症熱中症に対する当院の取り組みの変遷
			D-82	永樂 学	当院における熱中症重症度分類2024の有用性の検討
			D-83	富田 和孝	診断に時間を要した若年男性のPTP誤飲の一例
			D-84	堀江 勝博	皮下異物に対し、超音波ガイド下で迅速に異物除去を行えた1例
	救急隊・救急救命士① 座長：松本 徹也	15：33～16：22	D-85	鈴木 俊太郎	ドクターカー出動範囲内での救急隊の現場滞在時間にかかわる因子
			D-86	濱 京志朗	当院ドクターカー出動が救急現場活動時間に与える影響
			D-87	永澤 由紀子	救急救命士による救急外来からの転院搬送の調整とその効果
			D-88	遠藤 信太郎	病院救命士がDMATの後方支援において多職種をつなぐ情報戦略の要となる
			D-89	宮上 和也	病院救命士はDMAT業務調整員として適役である～令和6年能登半島地震における活動より～
			D-90	馬淵 寿美	病院救急救命士の緊急走行研修への取り組みと変化
			D-91	高橋 治花	院外心停止患者における口頭指導を受けたバイスタンダーが胸骨圧迫を開始するまでの時間と患者転帰の検討
	救急隊・救急救命士② 座長：丸橋 孝昭	16：23～16：58	D-92	中澤 真弓	当大学の地域医療活動支援の現状と課題 ～「地域で必要とされる救急救命士」の養成～
			D-93	石室 正輝	病院救急救命士による病院職員を対象とした心肺蘇生講習会トレーニング
			D-94	三橋 正典	学生の能登震災災害ボランティア支援活動からみた教育効果とその課題
			D-95	藤本 賢司	日体大救急医療学科とさらなる産官連携強化への必要性とこれからの課題
			D-96	原田 諭	当大学における学生VR教育の効果と課題

会場	一般演題・セッション名	開催時間	演題番号	筆頭演者	演題名
第7会場 (ガラス棟4F・G404)	研修医・感染症① 座長：高見 浩樹	9：00～9：42	D-97	山口 達也	右足底部外傷を契機に発症した破傷風の一例
			D-98	小坂 鞠奈	術前腎動脈塞栓術を行った気腫性腎盂腎炎の1例
			D-99	大野 拓也	電撃性紫斑病を伴った侵襲性髄膜炎菌感染症の1症例
			D-100	本橋 悠	Enterococcus hiraeにより複雑性腎盂腎炎を発症した1例
			D-101	鈴木 佑	特発性好中球減少症患者で重症敗血症や致死的真菌感染症の感染管理に難渋した1例
			D-102	安田 英嵩	外傷患者に続発したKodamae ohmeri 真菌血症の1例
	研修医・感染症② 座長：大井 康史	9：43～10：25	D-103	稲垣 光太郎	S. aureusによるToxic shock syndromeに対し迅速な創部デブリドマンにより救命し得た1例
			D-104	豊田 祐輝	尿中抗原検査陰性であったLegionella pneumophila血清型2によるレジオネラ肺炎の1例
			D-105	北村 野乃	化膿性胸鎖関節炎の3例
			D-106	小長井 涼太	マイコプラズマ肺炎に続発した肺膿瘍の1例
			D-107	小池 一輝	子宮内避妊具挿入後に発生した劇症型溶血性連鎖球菌感染症の1例
			D-108	中村 郷	外傷歴のない嚥下障害のみを主訴とした破傷風の1例
	研修医・外傷 座長：高橋 仁	14：00～14：56	D-109	吉田 美裕	体外式ペースメーカーと歯突起骨折の存在が交通外傷後意識障害精査の障害となり急性期脳梗塞の治療機会を逸した1例
			D-110	市川 実	虐待による乳幼児頭部外傷と診断した、乳児の急性硬膜下血腫の1例
			D-111	今泉 光人	胃管の気管内への誤挿入で気胸を合併した症例
			D-112	久保 あゆみ	脳梗塞を併発した頸椎骨折のない外傷性椎骨動脈解離の1例
			D-113	信田 弥咲	診断が遅れた腹膜外膀胱破裂の1例
			D-114	前田 航	Dual Energy CTにより脊椎骨折を早期に診断し得た症例の検討
			D-115	子金 洋貴	重症肺挫傷に対しHybrid-ERにてVA-ECMOと緊急肺部分切除で救命した1例
			D-116	宇都宮 正稔	穿通性肺損傷に対してpulmonary tractotomyを行った1例
	研修医・中毒・その他 座長：野村 智久	14：57～15：39	D-117	佐藤 由彩	第Xa因子阻害薬関連の尾状核出血に対し、アンデキサネットアルファを使用し良好な経過を得た1例
			D-118	八田 大生	覚醒剤中毒に合併した特発性縦隔気腫の1例
			D-119	大場 賢生	洗濯用パック型液体洗剤の内容物を直接摂取し喉頭浮腫を呈した1例
			D-120	勝見 大誠	淡水エイ刺傷によりアナフィラキシーショックおよび手内在筋障害を呈した1例
			D-121	迫村 穂貴	ジフェンヒドラミン中毒に対し、血液透析療法を施行した1例
			D-122	藤間 千聡	自殺目的に長期保存していたトリカブトを服用した1例
	研修医・その他 座長：服部 憲幸	15：40～16：15	D-123	井上 実香	救急外来受診時の脳波検査により心因性疾患との鑑別が可能となった側頭葉てんかんの1例
D-124			伊藤 叡彦	腹腔動脈解離と診断後、急激な循環不全に至った衝心脚気の1例	
D-125			井田 利香	転院に難渋した神経性食思不振症の1例	
D-126			江口 里咲	前立腺癌治療中に後天性血友病を発症した1例	
D-127			澤近 望	脳出血後に合併した非閉塞性腸管虚血症の1例	